



パック連通信

事務局：山梨県大月市御太刀 1-2-10

No.125 2023年9月15日発行
全国牛乳パックの
再利用を考える連絡会

TEL. 0554-22-3611

牛乳パックリサイクル啓発動画を絶賛制作中

以前も動画制作でご協力いただいたマシンガンズさんにオファーさせていただき、去る9月7日、新木場にあるスタジオ・オールドオリーブにて撮影を行いました。

マシンガンズさんと言えば、今年5月にフジテレビで放送された漫オトーナメント「THE SECOND」で準優勝してからテレビ出演の機会が一気に増えて、撮影スケジュールを押さえるのに数か月かかりましたが、オファーを快く受けてくださいました。

今回の動画制作は、テーマを4つに分け、短いバージョン企画となっています。

第1話「牛乳パック

飲んだあとどうしてる？」

第2話「もっとリサイクルを！」

第3話「再生品ってやわらかい！」

第4話「お家でできる紙漉きに挑戦！」

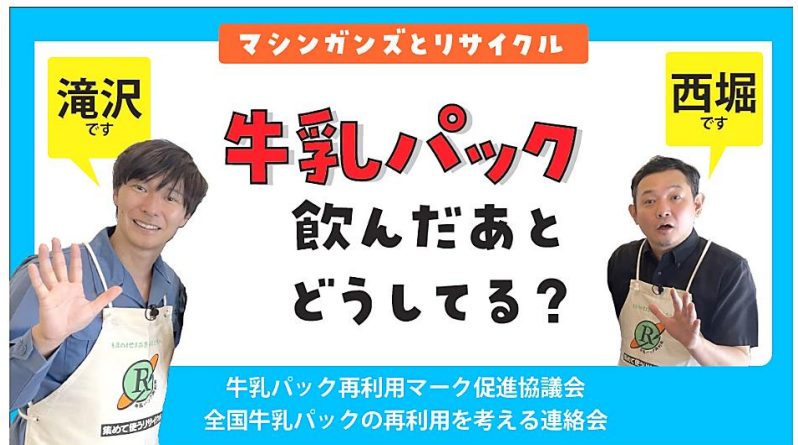
第1話では、紙パックの回収率が低迷している現状と、捨てられている紙パックで実は6億4600万ものトイレットペーパーができ、捨てたらもったいないことを強調しています。

第2話は、牛乳パックの資源の出し方について詳しく説明。最近増加しているリサイクルルートが確立されていない未ざらし紙パックについても、絶対に牛乳パックに混ぜないで！と注意喚起しています。

第3話は、牛乳パック再生品の紹介。品質の良さをフリートークで伝えて下さいとお願いしたところ、トイレットペーパーを長く引き出して、顔をこすりつける西堀さんのアドリブに、立ち会ったメーカーさんからはすぐにOK！が出ました。

第4話は、手すきはがき作りの紹介です。滝沢さんが説明しながら、西堀さんがはがき作りに挑戦するという内容になっています。

撮影は順調に進み、予定時間前に収録は終わりましたが、編集にはかなり時間がかかるかと思います。完成しましたらご案内いたしますので、ご覧になってコメントをいただけるとありがたいです。



牛乳パックの手開き方法を伝授



はがき作りの段取りを説明中

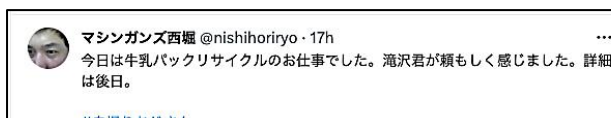
収録後に、さっそく西堀さんがX（旧ツイッター）にあげてくださいました。

お二人のバックマークのエプロン姿、よくお似合い！

後日滝沢さんが、未ざらし紙パックはリサイクルNGであることを投稿。

下記アドレスをぜひご覧になってください。

<https://share.smartnews.com/VfBhU>



11 256 1,626 58.7K



お笑い芸人として活躍しつつも、Xでは日々ごみに関する有益な情報を発信し続けている滝沢。同日は「今日は今までで一番難しい話をします」と切り出し、「豆乳のパックは開いてみると茶色です」とコメントした。



投稿には2枚の写真が添えられており、片方には豆乳パックが写っている。一見すると普通の紙パックのようにも見えるが、内側は茶色の素材になっており、パックの内側もアルミ箔が使用されている。

投稿で滝沢は「これを未ざらしパックと言うのですが、牛乳パックとして出してもリサイクルされません。なので可燃ごみで出してください!」と呼びかけていた。

ゴミ芸人を自称する滝沢さんは、前回のパック連企画動画制作後、環境省サステナビリティ広報大使に任命され、ごみだけでなく、リサイクルについてもさらに知識を広げられています。

YouTubeにて「たきざわゴミ研究所」を開設していますが、こちらでも牛乳パックを資源に出すことの大切さや、牛乳パックは手で簡単に開けること、6枚のパックで1ロールのトイレットペーパーが作れることなど、いろいろ紹介されています。

相手の西堀さんが「頼もしく感じました。」というのにも頷け、本当に心強く思いました。

今回の撮影には、バックマークメーカーである丸富製紙さん2名、コアレックス信栄さん2名に立ち会っていただきました。

またパック連サポーターの山科さん、佐藤さんは紙パックメーカーのOBでもあるので、撮影進行中、「こういう表現でいいのか?」という疑問が出てきても、パックメーカーさん、サポーターさんに相談ができ、このこともまた心強かったです。

撮影スタッフは7名、タレントさん入れて総勢14名での撮影作業でした。



アルミ付き未ざらし紙パック問題が北海道紙パック会から提起されました

経緯

北海道全土のアルミ付きも含めた白板の紙パック類の受け入れ製紙メーカー、コアレックス道栄（株）は、今年 4 月末に、工場損紙を受け入れていた北海道の某乳業メーカーより「茶色の紙パックはリサイクルできるか？」という問い合わせを受けたそうです。

コアレックス道栄は「できない」と回答し、5 月に入って経緯を確認しに直接某乳業メーカーを訪問すると、紙パック原紙の供給をしているテトラパックから、「白板が今はないため待つてほしい」と言われたとのことでした。

この件で、6 月に北海道紙パック会から「全国的にはどのような状況になっているのか？」と全国パック連に問い合わせがありました。ただちに関係者との情報交換が必要と考え、受入れ製紙メーカー、回収事業者、牛乳パックリサイクルにかかわる市民団体、オブザーバーとして（公財）古紙再生促進センターに声をかけ、7 月 10 日「未ざらし紙パック問題検討 ZOOM 会議」を開催しました。

未ざらし紙パックは何が問題か？

問題 1. まずはじめに、未ざらし紙パックはリサイクルルートが確立されていません。

40 年前、レンガ型の未ざらし牛乳パック（アルミ無し）が存在していましたが、牛乳パック再利用運動で屋根型紙パックのリサイクルが全国に拡大し、白板の紙パックの受け入れメーカーが増えると、牛乳パックリサイクルを安定させるために、未ざらしから白板に切り替えられました。

この会議に先駆け、パック連としてもスーパーの売り場をチェックすると、あまりにも市場に未ざらし紙パック製品が多いことに驚愕しました。豆乳、甘酒、ビタミン・鉄分入り飲料、野菜ジュース、アーモンドミルク、オーツミルク、ブランドコーヒーといった「体に優しそうな？」多くの飲料が、未ざらし紙パックに詰められ販売されていました。生協のチラシにも未ざらし紙パック製品が複数掲載され、生協独自のリサイクルマークが表示されていることから、回収も行っていると推測され、まず生協へ問い合わせを行いました。

生協の回答は、2 社の受け入れメーカーに紙パックと、白板ある無しにかかわらずアルミ付き紙パックを一緒に入れているということでした。

受け入れメーカーに確認すると、1 社は受けておらず、1 社は取引先なのである程度は受けざるを得ないということでした。

問題 2. 未ざらし紙パックが混入すると、白色度が落ちるだけでなく、どんなに攪拌しても茶色のパルプがマーブル状に入ってしまう、抄紙したジャンボロール自体が商品価値を失います。

そのため、未ざらしだけで茶色のトイレットペーパーを商品化しているメーカーでは、抄紙する前後に機械をしっかり洗浄する工程を行っており、効率的にもリスクがあります。

問題 3. こうした理由から、未ざらし紙パックを受け入れているメーカー全国で 3 社のみで、リサイクルルートが確立されておらず、結果的に廃棄され焼却場行きです。つまりごみの増加につながっています。

問題 4. 未ざらしに変更する件について、牛乳パックリサイクルにかかわるステークホルダーへ、何の説明もありませんでした。

コアレックス道栄が、某乳業メーカーからの問い合わせで初めて知ったり、また当会も回収事業者経由でしか聞かされていなかったり、紙パックリサイクルを進める業界団体へも知らされてなかったりと、あまりに関係機関をないがしろにしていると思いました。

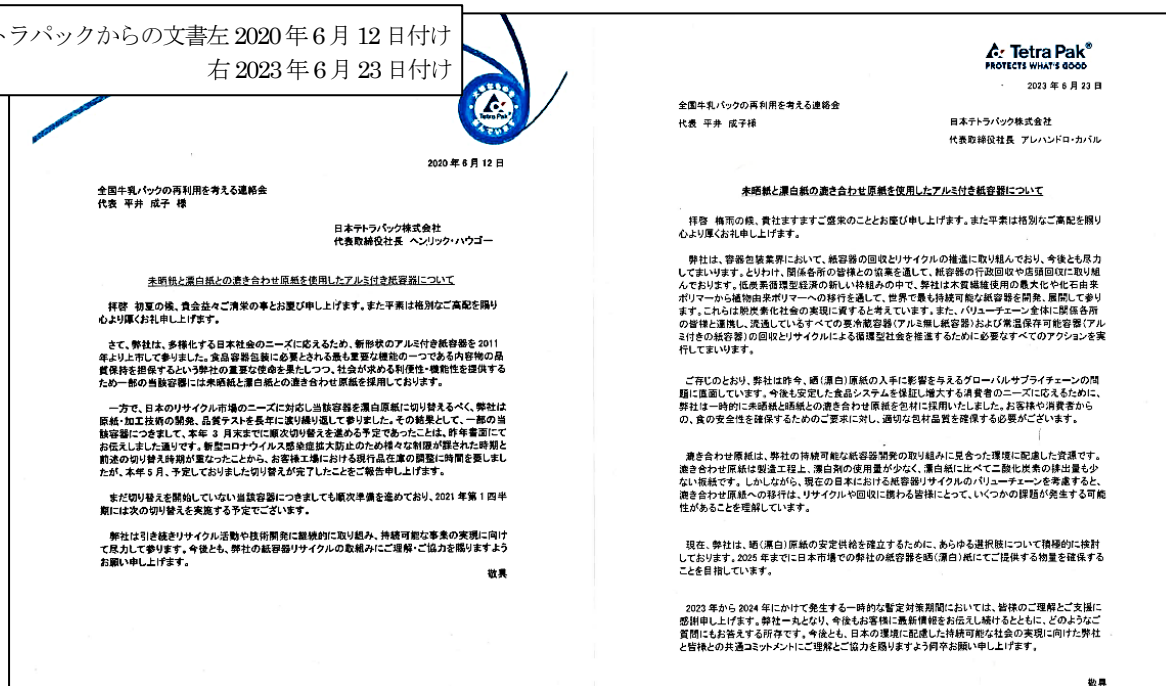
しかも、2020 年 6 月 12 日付けのテトラパックから当会に郵送で届いた文書に「日本のリサイクル市場のニーズに対応するべく当該容器（未ざらし紙パック）を漂白原紙に切り替えるべく—中略—本年 5 月に切り替えが完了したことをご報告申し上げます。」とあったものが、いつのまにか未ざらし紙パック製品が市場に増加し、そして問題視されていることを察知してか、テトラパックから取ってつけたように 6 月 23 日

に突然メールで文書が送られてきました。

要約すると、未ざらし紙パックへの変更はグローバルサプライチェーンの問題で、暫定的であり 2025 年までに白板パックにて供給することを目指す、未ざらしは環境配慮原紙であるが日本のリサイクルにはいくつか課題があることを理解している、といった内容でした。

理由がグローバルサプライチェーン問題といいながら、未ざらしへの切り替え手順は全くグローバルではなく、文書の送付も後手に回っています。またそれを何も疑問に思うことなく大手を含む飲料メーカーが受け入れている事実、昨今のビッグモーターやジャニーズ事務所の問題のように、表面化するまで見て見ぬふり知らぬふりの日本の企業体質の一片を垣間見たように思いました。

テトラパックからの文書左 2020 年 6 月 12 日付け
右 2023 年 6 月 23 日付け



全国パック連としての対応

全国パック連としては、原紙メーカー、紙パックメーカー、中身メーカー、回収事業者、受入れ製紙メーカーに、未ざらし紙パックの扱いについて現状及び今後の考え方などアンケート調査を行い、結果をもって関係省や自治体、牛乳パックリサイクル団体へ提言していこうと目下準備中です。

2022年度活動報告	2023年度活動予定
- 牛乳パックリサイクル講習会（8/5 相模原市） - 牛乳パックリサイクルほんとはなし改訂版発行 - 牛乳パックリサイクルキャンペーン開催（2/4 於イオンモール座間 共催座間市） - パック連通信発行 3 回 - パックマーク 30 周年オリジナルロール制作 - ウクライナ・トルコ地震 人道支援への寄附	- 牛乳パックリサイクル講習会（相模原市） - 牛乳パックリサイクルキャンペーン（於イオンモール座間 後援座間市） - 啓発動画制作「マシンガンズと牛乳パックリサイクル」 - パック連通信発行 2 回 - 未ざらし紙パック問題アンケート調査

◎パック連通信は、ホームページにも掲載しています。画像などカラーで見ることができますのでホームページの方もご覧ください。

◎牛乳パックリサイクル・牛乳パック再利用マークについてのお問い合わせは

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 / 牛乳パック再利用マーク普及促進協議会

TEL.0554-22-3611

FAX.0554-56-9216

E-mail info@packren.org

ホームページ <http://www.packren.org>

〒401-0012 山梨県大月市御太刀 1-2-10